

皮膚科学

【目的】

皮膚は人体を覆い外界との境をなし、生体防御の第一線として重要な役割を果たす人体最大の臓器である。かつて皮膚は単なる物理的障壁として考えられていた時期もあるが、最近では皮膚を構成する様々な細胞が全身の炎症あるいは免疫反応に深く関わっていることが示されている。また何より豊かな社会生活を送るために、健康で美しい皮膚は重要な要件である。皮膚科学はそのような役割をもつ皮膚におけるすべての異常を対象とし、内科系から外科系にわたる多岐にわたる知識と技能を求められる医学分野である。また皮膚の医学的観察はすべての臨床医学の基本であり、皮膚科学を専門としないプライマリケア医、あるいは他科診療医においても皮膚科学の基本的知識は必要不可欠である。

本実習により、臨床医として最低限必要な皮膚科学的知識を身につけるとともに、皮膚疾患に対する考え方、治療法に対する理解を深める。

【実習の実際】

外来実習：一般的な皮膚科疾患の診断・治療を実践し基礎的な知識を身につける。

- (1) 外来初診患者について、病歴の聴取及び診察を行い、情報を整理して診療録に記載し（予診）、鑑別すべき疾患について学習する。
- (2) 予診をとった患者について、指導教員の診察を見学する。
- (3) 再診患者の診察を見学する。
- (4) 外来患者に対する検査、処置、手術の見学または補助を行う。

病棟実習：患者とのコミュニケーションのとりかた、チーム医療における医師のあり方を、実践を通して学ぶ。

- (1) 担当患者に関して主治医と行動を共にし、入院の原因となった病態を把握する。
- (2) 担当患者の検査計画・治療計画の立案を行う。
- (3) 実際に入院患者と接することで、患者の QOL も考慮した全人的な医療のあり方を学ぶ。
- (4) co-medical スタッフとの関わり方を学ぶ。

手術室実習：皮膚科・形成外科手術の実際について理解を深める。

- (1) 手洗いをし、間近で手術を見学することにより手術手技を学習する。
- (2) 術前・術後管理を主治医とともに行う。

【週間(基本)スケジュール】

第1週	午前		午後	
	月		オリエンテーション(14:30 医局)	CC(症例検討会)(16:00 医局)
	火	教授回診(9:30 医局)		
	水			
	木			
	金	関連病院での実習		preCC *

第2週	月			CC * (16:00 医局)
	火	教授回診(9:30 医局)		
	水			
	木		病理実習(14:30 医局)	総括(16:00 医局)
	金			

第1週の月曜は 9:00 に皮膚科外来に集合すること。

月曜が祝日の場合、火曜 9:30 に皮膚科医局セミナー室集合。

月曜が祝日の場合、CC(症例検討会)は原則として火曜 16:30 からおこなう。

空欄の部分については、それぞれの興味や希望も考慮しつつ可能な限り柔軟に計画する(例:外来実習、特殊外来実習、病棟実習、検査実習、手術実習、など)。

*第1週の preCC で担当症例を割り当て、第2週の CC(症例検討会)で症例提示を行う。

【評価】

学生の評価は以下のように行う。

評 価 項 目	配点
毎日の行動内容、授業態度	50
学生用カルテの記載内容	10
ポートフォリオの記載内容	10
教員による試問	10
関連病院での行動内容、授業態度、知識	10
病理実習での行動内容、授業態度、知識	10

【担当教員】

秀 道広	教授
田中 暁生	准教授
河合 幹雄	講師/診療准教授
高萩 俊輔	助教
菅 崇暢	助教
岩本 和真	助教
森桶 聡	助教
松尾 佳美	助教
柳瀬 雄輝	助教

堀内 賢二 臨床教授（JR 広島病院 皮膚科部長）
田中麻衣子 臨床教授（広島県立広島病院 皮膚科部長）